

設立三十周年に寄せて

近畿第二地区 地区長

原田 収様



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度は青年部近畿第二

ブロックが結成三十周年の記念すべき佳き日を迎えられましたことは誠に心からおめでたく心からお祝い申し上げます。一口に三十周年と申し

ますが、今日に至る経過におきましては御宗家はじめ皆様方のご指導ご支援のもとに淡交会青年部近畿三ブロック発足記念総会が昭和五十五年十二月七日に大阪市中央公会堂に於いて盛大に式典が開催され、初代第二ブロック長に中谷庄八様をは

歴代ブロック長

| | |
|------------|--------|
| 昭和56年・57年 | 中谷 昭 八 |
| 昭和58年～平成2年 | 松野 隆 一 |
| 平成3年～6年 | 池田 周 弘 |
| 平成7年～12年 | 阪本 勝 義 |
| 平成13年～16年 | 廣田 元 孝 |
| 平成17年・18年 | 小森 克 也 |
| 平成19年～22年 | 八木 宗 新 |
| 平成23年～24年 | 青山 総一郎 |

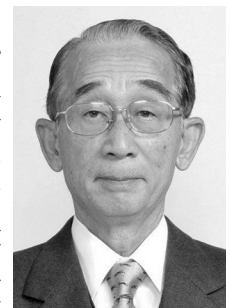
じめとして関係各位におかれましてはその間、平成四年台湾海外青年奉仕隊青年部三十周年事業、平成六年関西空港開港記念ロサンゼルス大会、平成二十二年豪州ミッシヨン青年部六十周年記念事業裏千家海外奉仕隊として素晴らしい実践修行の場を体験され並々ならぬご努力の賜でありますことを推察致しますとき、なお一層の感慨無量のお慶びの御事と存じ上げます。日本を代表する茶道の精神は独自の哲学のもとに心の教養にとつて最も大切な躰と礼儀を学びます。「一盃からピースフルネスを」と「一盃で感謝・合掌・仕え合い」のスローガンのもとに強い絆で結ばれた茶道は日々精進を重ねることにより自然のうちに自分自身のものになっていきます。昨今の殺伐とした世の中

にあつて家庭内暴力や校内でのいじめや恩愛なき師弟関係等々数え切れないほどの悪事が毎日のように報じられています。こうした世の中を平和で豊かな思いやりのある礼節深い心をもつ日本人を醸成していかなければなりません。茶の心はこうした人間形成にとつて茶道の眞の相を学び生かしていかなければなりません。弊社におきましても茶道部を設けて点でられた一盃に感謝をささげ素直に一盃をいただくことから稽古が始まり、又茶道を通じて多くの方々との出会いや交流が深まっていく喜びは計り知れないものがあり筆舌に尽くすことはできません。今後共末永く「一期一盃」を大切にして精進を重ねていきたいと強く希っております。結びになりましたが貴第二ブロックの皆様方が茶道を通じてこれからも末永く地域社会と共にご隆盛されますことを心から願ひたい御宗家ご一同様と会員各位の益々のご発展とご健勝を御祈念申し上げ祝辞の挨拶と致します。

合 掌

初代 ブロック長

中谷 庄 八 様



私の手許に昭和五十三年十二月発行の“大青”があります。

“大阪を緑にしよう”緑の茶会開かれる、の見出しで大阪の緑化意識向上に努力した歴史が記載されています。

初代、秋山圭市部長から昭和四十九年にバトンタッチされた故・井上良昭さんから「中谷君一寸手伝って」と言われ、大阪青年部の会合に出席したのが裏千家青年部とご縁の始まりでありました。

井上さんも私も大阪青年会議所の会員であったので、お茶の青年部も社会との関

り合いを持つべきだと考え、大阪青年部十五周年記念事業として、大阪城西の丸公園と豊松庵で「緑の茶会」を催し、当時の大島市長をはじめ二〇〇名の参加者があり、初心者コーナーでは一般市民のジーン姿や若い人たちが略益点前をさ

想い出に残っています。そして記念として寄贈した枝垂れ桜六本は、今では立派に成長し、毎年見事に花を咲かせていることと思います。又、その年に成人になる青年達を対象にした「青年の茶会」等、社会との関係を考えた行事も行いました。

この様に発展して来た青年部を三分割し、更に効果的な活動をすべく昭和五十五年一月七日、大阪中央公会堂で近畿三ブロックの発会式典が行われ、現御家元のご出席を仰ぎ、三人のブロック長に承認証が手渡されました。第一ブロックは大山義朗氏、第三ブロックは岸本晃一氏、そして第二ブロックは中谷が、それぞれブロック長を拝命しスタートしました。ブロック間の交流も行い、南紀や奈良、京都、兵庫を訪問した事は楽しい思い出です。

その後、私を含め役員は時代に即して若返りを行い、各支部が充実した活動ができるようバックアップしている事と思ひます。時代は変わり、人も変わりますが、日本文化の象徴である裏千家茶道が益々充実、発展する事を心より祈念致しております。

れている風景は素晴らしく、